

2022年11月30日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

全国へき地教育研究連盟加盟校へリユースノート PC150 台を寄贈

～全国のへき地・複式・小規模校に通う子どもたちを支援～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO 添田 毅司）は、全国へき地教育研究連盟（東京都港区、会長 柿崎 秀顕）に加盟する全国のへき地・複式・小規模校のなかから141校へ、リユース（再生）処理を施したノート PC150 台を寄贈します。

“リユース（再生）”パソコン寄贈の概要

寄贈するパソコンは、社内で使用しなくなったパソコンのうち状態の良いものを選び、必要なリユース処理（パソコン内のデータ消去に加え、筐体のクリーンアップ、アプリケーション等のインストール、オプション品の付設等）を行った後、各学校へ梱包・配送されます。

寄贈の目的

今回のリユースノート PC 寄贈は、当社の社会貢献活動のテーマである「未来を担う子どもたちを応援する」ために実施するもので、全国へき地教育研究連盟を通じて、連盟に加盟する全国のへき地・複式・小規模校から希望を募り、応募のあったなかから141校へ順次寄贈します。

なお、ジブラルタ生命はこの取り組みを2015年から継続しており、寄贈したリユースノート PC は昨年までに1,720校/1,977台、本年度分を合計すると累計寄贈数1,861校/2,127台となります。

寄贈先の学校からは「授業で子どもたちと一緒に使わせていただきます」といった声や、「自由に使えるパソコンが欲しかったので助かりました」という感謝の言葉をいただいております。

当社はこれからも未来を担う子どもたちを応援すべく、様々な社会貢献活動に取り組んでまいります。



<昨年行なわれたリユースノート PC 贈呈式の様子>

（添付資料） 2022年 リユースノート PC 寄贈先学校一覧

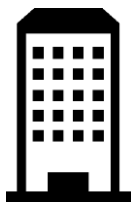
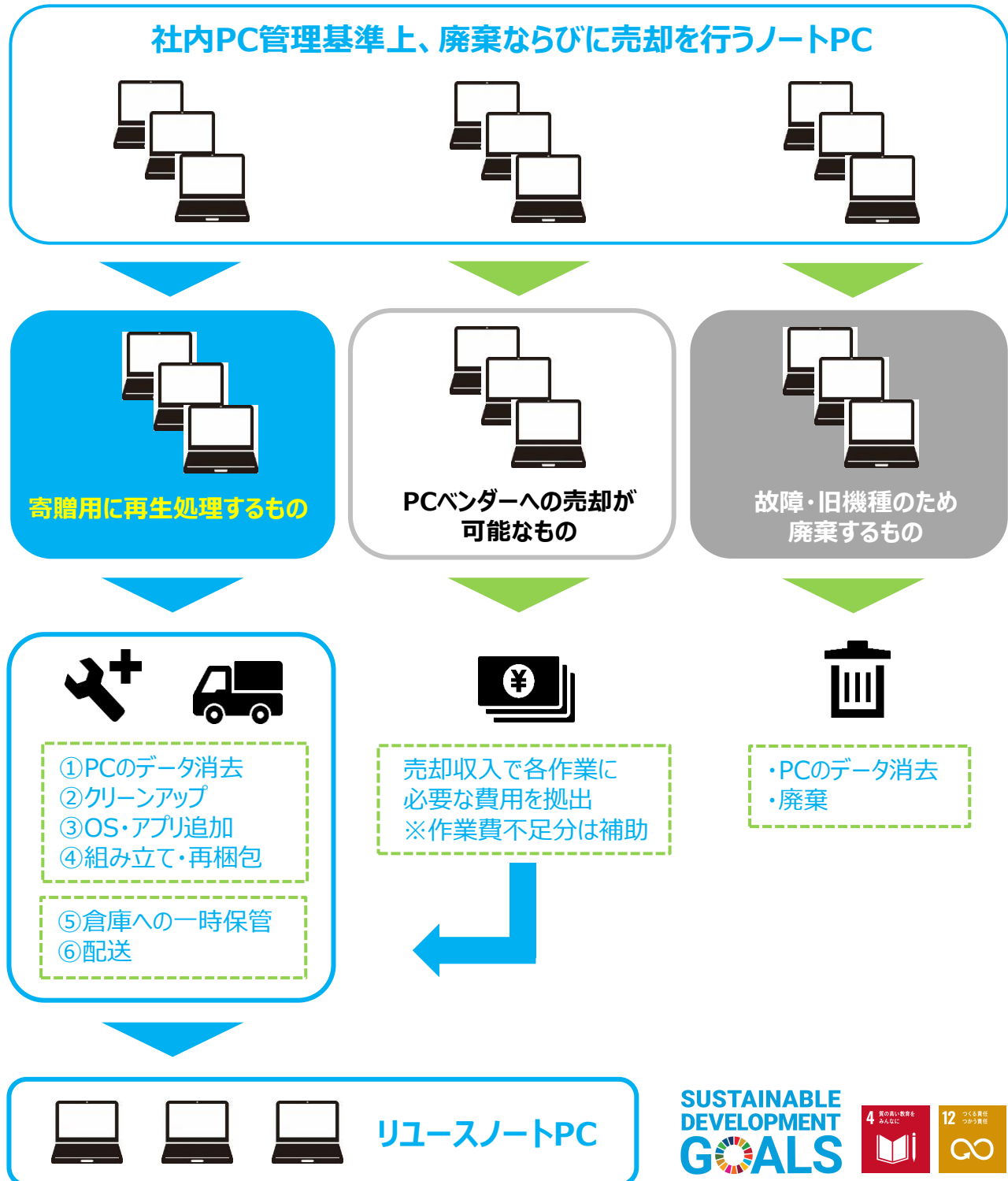
参考

■ 全国へき地教育研究連盟について

同連盟は各都道府県へき地教育研究団体の活動を促進し、関係機関団体との連絡を密にして、へき地学校、小規模学校、複式学級を有する学校、分校等の教育の充実をはかり、もってへき地における教育の振興をはかることを目的に活動されています。

ホームページ：<http://www.zenhekiren.net/index.html>

■ リース（再生）パソコン寄贈までの流れ



全国へき地教育研究連盟を通じ、全国のへき地・複式・小規模校から希望を募り、寄贈先学校を選定



全国のへき地・複式・小規模校へリユースノートPCを寄贈

